

国立公園のプロフィール

国土の7割が森林に覆われ、亜寒帯から亜熱帯まで多様な環境や動植物に恵まれた日本列島。豊かで美しい日本の自然を代表する地域が国立公園である。

日本の国立公園は昭和6(1931)の制度創設以来、70年余りの歴史を有している。現在、全国で北海道から琉球列島まで、29の国立公園が指定されており、国土の陸地面積の5パーセントを占めている。全国の代表的な自然環境をカバーする国立公園は、自然環境と生物多様

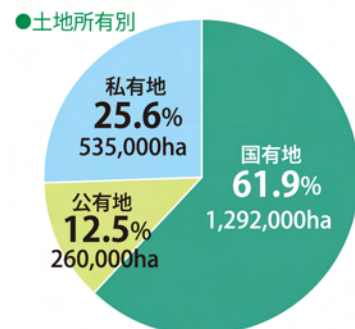
性を保全する日本の保護地域システムの骨格を担っている。

日本の国立公園には、原始的な森林や湿原だけでなく、人と自然の関わりを通じて形成された農耕地や集落周辺の自然、また歴史的、文化的景観も含まれている。さまざまなレクリエーションや観光、教育活動などに利用することも目的としており、地域社会との共存を重視している。

日本の国立公園は、土地所有にかかわらず指定される。公園内の国有地も、多くは公園以外の目的で管理されている。このため、土地所有者を始めさまざまな関係者と産業活動や土地利用の調整を図りながら、自然資源の保護と持続的な利用を両立させていくことが日本の国立公園管理の基本となっている。

国立公園の管理はゾーニングにもとづいて実施されている。公園区域は、自然環境や景観の特性に応じて、最も厳格に保護される特別保護地区、公園区域の主体をなす特別地域、そして緩衝地域としての普通地域の3つのゾーンに区分されていて、樹木の伐採や建設工事など景観に影響を及ぼすような活動は、許可または届出の対象となっている。

国立公園の実地の管理は、環境省の地方環境事務所が地方公共団体などの協力を得ながら実施している。各公園には自然保護官が配置され、開発行為との調整、利用施設の整備、普及啓発・インタープリテーション、自然環境のモニタリングなどの業務に携わっている。



日本の国立公園

- | | |
|------------|-----------|
| 1 利尻礼文サロベツ | 19 伊勢志摩 |
| 2 知床 | 20 吉野熊野 |
| 3 阿寒 | 21 山陰海岸 |
| 4 釧路湿原 | 22 瀬戸内海 |
| 5 大雪山 | 23 大山隠岐 |
| 6 支笏洞爺 | 24 足摺宇和海 |
| 7 十和田八幡平 | 25 西海 |
| 8 陸中海岸 | 26 雲仙天草 |
| 9 磐梯朝日 | 27 阿蘇くじゅう |
| 10 日光 | 28 霧島屋久 |
| 11 尾瀬 | 29 西表石垣 |
| 12 上信越高原 | |
| 13 秩父多摩甲斐 | |
| 14 小笠原 | |
| 15 富士箱根伊豆 | |
| 16 中部山岳 | |
| 17 白山 | |
| 18 南アルプス | |

北海道の国立公園

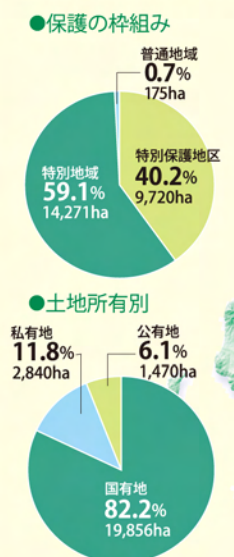


1 利尻礼文サロベツ Rishiri-Rebun-Sarobetsu

指定年：昭和49(1974) 面積：24,166ha

日本最北の国立公園。洋上の孤立峰利尻島、固有の植物が見られる礼文島、そしてサロベツ川の河口に広がる広大なサロベツ湿原の三つのエリアから成り、変化に富んだ景観と動植物が特徴である。

●来訪者数：100万人(2008年)



6 支笏洞爺 Shikotsu-Toya

指定年：昭和24(1949) 面積：99,473ha

活発な活動を続ける火山とカルデラ湖の景観を基調とする公園で、自然性の高い森林を多く含んでいる。札幌大都市圏に近接し、アクセスが良いため、身近なレクリエーションのフィールドとして多くの人々に親しまれている。



3 阿寒 Akan

指定年：昭和9(1934) 面積：90,481ha

日本で最も歴史のある国立公園の一つ。トドマツ・エゾマツの原生林と、火山活動で形づくられた大小の湖が景観の基調となっている。北海道らしい自然の奥深さを感じさせる公園である。活動中の火山もあり、各所に温泉が湧出する。

2 知床 Shiretoko

指定年：昭和39(1964) 面積：38,636ha

北海道の東北部に突き出した知床半島の中央部から先端部が指定されている。定住人口はほとんどなく、海と陸が一体となった原始的な生態系が残されており、ヒグマ、オオワシ、トドなどの大型野生動物が息づく。平成17(2005)年に世界自然遺産地域に登録された。



4 釧路湿原 Kushiro-Shitsugen

指定年：昭和62(1987) 面積：26,861ha

昭和62(1987)年に指定された比較的新しい国立公園。釧路湿原は釧路川の流域に広がるスゲ類などの低層湿原を主体とした我が国最大の湿原で、タンチョウやイトウなど絶滅のおそれのある野生動物の貴重な生息地でもある。昭和55(1980)年に我が国で最初のラムサール条約の登録湿地となった。



5 大雪山 Daisetsuzan

指定年：昭和9(1934) 面積：226,764ha

22万6千ヘクタールの日本最大の国立公園。北海道の屋根となっている2000m級の山並みが連なり、山上には高山植物の大群落が広がっている原始性の高い公園である。ヒグマをはじめさまざまな野生動物のすみかとなっている。



写真：海野孝、大橋年治、小池正一、小林実、小宮山枝里子、佐野勝一、橋智行、洞爺湖温泉観光協会、八木正和、山田良造、百武充、礼文町役場、利尻町役場、(財)自然環境研究センター、(株)北海道アート社、疋田英子